

癌を早期に発見しましょう！

はじめに

厚生労働省発表の本邦における死因統計によると、第1位が悪性新生物（癌）、第2位が心疾患（心筋梗塞など）、第3位が脳血管疾患（脳卒中）となっています。

では、どんな癌による死亡が増えているのでしょうか？

以前は、男女ともに胃癌による死亡が最多だったのですが、現在、男性では肺癌、女性では大腸癌が第1位となっています。なお、肺癌、大腸癌は男女ともに増加傾向にあり、また、B型肝炎やC型肝炎に伴う肝癌による死亡も増えています。

癌の原因は？

癌の原因は様々です。遺伝的要素もありますし、喫煙や食生活の欧米化、また、胃に感染するヘリコバクターピロリ菌や肝臓に感染するB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスなどが挙げられます。

癌の治療は？

癌の治療には抗癌剤治療や放射線治療、外科的切除術などがありますが、最近著しく進歩しているのが、早期消化管癌に対する内視鏡的切除術です。

内視鏡的切除術とは？

内視鏡的切除術とは、胃カメラ（上部消化管内視鏡）や大腸カメラ（下部消化管内視鏡）の先から小さい器具を出して癌を切除する治療です。当院でもこれまでたくさんの内視鏡的切除術を行ってきていますが、体に手術創はできませんし、入院期間も1週間程度と、従来の外科的切除術に比べると格段に短くなっています。しかし、どんな消化管癌も内視鏡で切除できる訳ではありません。前述したように早期消化管癌が適応となり、進行癌では内視鏡的切除はできません。

消化管癌を早期に発見するには？

早期消化管癌で症状を呈することは少なく、癌を早期に発見するにはやはり検診や人間ドックを症状のないうちに受けるしかありません。胃バリウム検査や胃カメラ、便潜血検査や大腸カメラなどが方法として挙げられます。

おわりに

消化管癌だけでなく、肺癌や肝癌、前立腺癌、子宮癌、卵巣癌など、どんな癌でも早期に見つけることができれば、内視鏡的切除術も含め、様々な治療法で治癒に導くことが可能となります。しかし、進行してしまった場合には、現在の医学をもってしても完全治癒はなかなか望めない状況にあります。是非とも検診や人間ドックを受けて、死亡原因の第1位である癌を早期に発見しましょう。

（文責 佐野 互）